

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホームせせらぎの家

施設種類：**グループホーム** 小規模多機能型居宅介護施設（該当に○）

日時：令和8年1月15日 10時00分～10時50分

会場：やまゆり苑 家族交流室

出席者：9名

内訳

利用者代表	0人	有識者	1人
利用者家族	1人	出雲高齢者あんしん支援センター	1人
地域住民の代表	1人	高齢者福祉課	1人
その他（理事長、施設長、所長、管理者）			4人

議題

（報告事項）

1、入居者状況： <定員18名>（入居者17名）

要介護度1・・・6人 要介護度2・・・5人 要介護度3・・・3人

要介護度4・・・3人 要介護度5・・・0人

* 平均介護度・・・2.2

* 平均年齢・・・86.8歳

* 待機者・・・12名

2、行事報告

R7.12.14	maming+fun	利用者5名、職員7名
R7.12.16	クリスマス会（特養）	利用者4名、職員4名
R7.12.20	クリスマス会	利用者17名、職員10名

3、服薬介助方法について

4、意見交換

【近況報告・行事報告について】

高齢者福祉課

・日常の様子で、利用者様と職員さんが一緒に活動されている様子を見ていて、利用者の

皆様の満足を高めるようにされていて良いなと思います。施設整備ではご迷惑をお掛けしております。築30年経つと色々な所が同時に壊れたりしてきます。市としては予算確保し、事業者の方とコミュニケーションをとって対応していきたいと思っております。

コミセンセンター長

- ・写真、説明を聞きながら、利用者様、職員それぞれが能力を発揮し、頑張っておられるなと思います。

地域住民

- ・2日から雪が降って3日の朝は大変だったかと思います。通常だと道路の除雪が、窪田から八幡原で最後ですが、今回は八幡原から窪田だったので除雪が早かったと思います。色々な状況になり協力するところは協力します。

あんしん

- ・丁寧に報告して頂いて、写真もいっぱい様子が分かって良いです。獅子舞とか1つの事業所では難しくても、事業所間を行き来することで出来ていて良いなと思います。

家族代表

- ・母親の面会に行きますが、最初は誰だったかいねという感じで悲しい思いもしましたが、続いて行くと思い出してくれ母親の変化も感じて、家族も可能なら回数多く面会に行つた方が良いと思いました。せせらぎの職員さんのおかげで元気に過ごさせて頂いています。それと以前にもお願いして、断られたのですが、家族代表の検討をお願いします。

所長

- ・家族代表の件は検討させて頂きます。
いつも面会に来て頂いて、その後も表情が違っています。引き続き、お願いします。

【服薬介助方法について】

家族代表

- ・県中に入院している時に小さなプラスチックのケースに薬を入れておられたので、そういう方法もあるのかなと思います。

所長

- ・また検討させて頂きます。

あんしん

- ・きちんとされているので言うことはありません。

高齢者福祉課

- ・何重にもチェックされていて、これはやまゆり全体ですか？

所長

- ・特養も一緒です。このマニュアルに沿ってきちんと行っていたら、間違いはありませんが、一つ欠けたり、他の利用者の方から声を掛けられたりすることもありますので、優先順位をきちんと決めて、内服介助時は、そのことに集中して対応しなければならないと思います。

【その他】

コミセンセンター長

- ・先日、大きな地震があり、大変にびっくりされたと思います。災害対策本部を立ち上げようとしたが、出雲市は震度4で、震度4だと準備態勢になりますので、取りやめました。佐田町の行政センターに震度計があり、震度3ちょっとだったようです。施設の方も災害対策はされていると思います。先日の状況報告をしました。

所長

- ・先日の地震は利用者様も揺れを感じびっくりされていました。日頃からの訓練が大事だと思います。

あんしん

- ・せせらぎの家は、丁寧に報告して頂いて、言うことはございません。

コミセンセンター長

- ・現在、特養の施設を大規模改修されているようですが、新築移転の方はどうされますか。

理事長

- ・特養の新築移転ですが、現在、築26年で、築30年を経過しないと補助金が受けることができません。今の特養を修繕し継続しながら、移転を考え、だましだましやってきましたが、天井からの雨漏り、それによりクロスが剥がれたり、ボードが腐り、水回りが駄目になりました。とってもだましだましでは出来ず、設計事務所と相談し、直して使っていこうということになりました。町内の人口はこのままだと5年、10年先には人口が半分になります。利用者確保、職員確保の為にも市内にも範囲を広げれるように

と思っています。特養の移転をやめた訳ではなく、新築移転計画は残して2本立てやつていきます。

高齢者福祉課

- ・新築移転ですが、補助金など、緊急度に合わせ寄り添って、施設の方とも対話しながらやっていきたいと思います。

施設長

- ・せせらぎの家は多職種がチームでケアを行っていますが、ご家族もチームの一員と考えておりますので、いろいろと相談させていただきながらお一人お一人にサービスを提供しています。ご利用者本人にとってご家族は特別な存在ですので、我々では及ばないことが沢山あります。面会に来られた際に本当に良い表情されるところを沢山見てきましたので、一緒になってケアを行っていただけると喜びます。ご都合もあるかと思いますので、遠方にいらっしゃったり、お忙しければ年に数回でも良いので面会していただきたい、電話でもよいのでお話していただけるととても喜ばれると思います。

一方で、介護福祉業界は人材の確保が課題で、なかなか人材確保が難しいのが現状です。運営推進員の皆様におかれましてもどなたか知り合いの方で、介護の仕事に興味を持たれてる方がいらっしゃいましたらお願いします。職員一人一人がご利用者へのサービス、経営、稼働率等を考え、みんなで力をつけてやっていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

所長

- ・今後も、ご利用者様、ご家族様にせせらぎの家で良かったと言ってもらえる、思ってもらえるように支援していきたいと思います。

管理者

- ・新しい年を迎え、今年度も残り3ヶ月となりました。利用者様の生活は変わらず、安心して生活できるように頑張っていきますので、よろしくお願いいたします。

以上